

ポストコロナにおける活動に向けた NPO 法人・市民活動団体アンケート調査

<実施主体>

横浜市市民協働推進センター（管理運営団体：市民セクターよこはま・関内イノベーションイニシアティブ共同事業体）
横浜市市民局市民協働推進課

<趣旨>

これからの市民活動を後押しする方策を検討するためのアンケートです

「少子高齢社会」「地球温暖化」「格差の広がり」など、大きな社会問題を抱え、一方で、SDGsの推進をはじめ、未来への変革を後押しする潮流も見えてきた中で、わたしたちは、ある種の災害ともいえるコロナ禍を経験しました。

いまだ収束が見えない中、市民活動の運営や活動においては、様々な対応や変化、新たな取組に向けた模索が見られます。

このような状況下で、これからの活動の展開に寄与できるよう、この調査は、団体による活動の実態や意向等を把握し、必要な仕組みづくりや支援等について、検討していくことを目的としています。

趣旨ご理解の上、本調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

<調査期間>

2021年8月2日（月）～8月22日（日）（21日間）

<調査対象>

- ・ 横浜市内のNPO法人（横浜市認証および横浜市に主たる事務所を置く神奈川県認証のNPO法人）
- ・ 2020年度市民公益活動緊急支援助成金 申請団体
- ・ 横浜市市民協働推進センター登録団体（2021年6月末時点）

<調査結果の公開>

回答結果は、個々の団体・個人が特定されない形で集計し、報告書を作成のうえ、横浜市市民協働推進センターホームページ等で公開します。

<本件に関するお問合せなど連絡先>

横浜市市民協働推進センター（担当：関尾・染谷・佐藤）

電話：045-671-4732

メール：information@kyodo-c.city.yokohama.lg.jp

FAX：045-223-2888

<回答方法>

● 1 団体につき、回答は 1 回のみとさせていただきます。

(本依頼と併せ、公開の代表アドレス宛や貴法人ホームページ問合せフォームへ依頼させていただいている場合があります。団体内で調整のうえ、ご回答をお願いいたします。)

● 入力フォームから回答いただけます。

横浜市市民協働推進センターのホームページにアクセスいただき、「NEWS(ニュース)」のページから、アンケート専用ページにお進みください。

【方法 1】

- ① 横浜市市民協働推進センターのホームページにアクセスください。

横浜市市民協働推進センター

検索

- ② トップページを下方にスクロールして、NEWS(ニュース)のコーナーにあるアンケート専用ページのバナーをクリックしてください。

【方法 2】

下記の URL を入力のうえ、アンケート専用ページに直接アクセスください。

<https://forms.office.com/r/yRqSe0aJUb>

【方法 3】

スマートフォンでの入力を希望する方は、右の QR コードからアクセスできます。



- 入力フォームでの回答が難しい場合、別方法での回答について、下記の連絡先までご相談ください。

<連絡先 (担当: 関尾・染谷・佐藤)>

電話: 045-671-4732

メール: information@kyodo-c.city.yokohama.lg.jp

FAX 番号: 045-223-2888

※ 右の QR コードから、協働推進センターの問い合わせフォームをご利用できます。



★以下の設問にご回答ください。概ね30～40分で回答いただけます。

1. 団体・回答者について

Word 版データに直接、入力回答する際の 選択式設問の回答方法について

- をクリックすると に変わります。
(もう一度クリックすると、 に戻ります。)
- その他を選択した際は、下線の欄に回答
をご記入ください。

1 団体の種別 ※いずれか 1つ選び、 を付けてください。

- 任意団体
- NPO 法人
- 一般社団法人
- その他の非営利法人

2 団体名 ※非公開 ※法人格を含む正式名称を記入ください。

3 回答者の役職 ※いずれか 1つ選び、 を付けてください。

- 代表者
- 理事・役員
- スタッフ・職員
- 会員・支援者 (ボランティア)

その他 : _____

4 主な活動分野 (分野を 1つ選択)

※中心的な活動分野として、最もよく当てはまるものを 1つ選び、 を付けてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 保健、医療、福祉の増進 | <input type="checkbox"/> 国際協力、多文化共生 |
| <input type="checkbox"/> 社会教育の推進 | <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 |
| <input type="checkbox"/> まちづくりの推進 | <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 |
| <input type="checkbox"/> 観光の振興 | <input type="checkbox"/> 情報化社会の発展 |
| <input type="checkbox"/> 農山漁村、中山間地域の振興 | <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 |
| <input type="checkbox"/> 学術、文化、芸術、スポーツの振興 | <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 |
| <input type="checkbox"/> 環境の保全 | <input type="checkbox"/> 職業能力の開発、雇用機会の拡充支援 |
| <input type="checkbox"/> 災害救援活動 | <input type="checkbox"/> 消費者の保護 |
| <input type="checkbox"/> 地域の安全活動 | <input type="checkbox"/> 団体の運営・活動に関する連絡、助言、援助 |
| <input type="checkbox"/> 人権の擁護、平和の推進 | <input type="checkbox"/> その他 : _____ |

5 団体の主たる事務所の所在地 ※いずれか 1つ選び、☒ を付けてください。

- | | | | |
|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 鶴見区 | <input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区 | <input type="checkbox"/> 青葉区 | <input type="checkbox"/> その他: _____ |
| <input type="checkbox"/> 神奈川区 | <input type="checkbox"/> 旭区 | <input type="checkbox"/> 都筑区 | |
| <input type="checkbox"/> 西区 | <input type="checkbox"/> 磯子区 | <input type="checkbox"/> 戸塚区 | |
| <input type="checkbox"/> 中区 | <input type="checkbox"/> 金沢区 | <input type="checkbox"/> 栄区 | |
| <input type="checkbox"/> 南区 | <input type="checkbox"/> 港北区 | <input type="checkbox"/> 泉区 | |
| <input type="checkbox"/> 港南区 | <input type="checkbox"/> 緑区 | <input type="checkbox"/> 瀬谷区 | |

6 主な活動エリア

※中心的な活動エリアとして、最もよく当てはまるものを 1つ選び、☒ を付けてください。

- 全国
- 神奈川県域
- 横浜市域
- 横浜市内の複数区域
- 横浜市内の単一区域
- その他: _____

2. 地域・社会の変化への対応について

これからの市民活動に資する支援方策を検討するため、コロナ禍での状況を含む、市民活動団体の実態やニーズ等をお聞きます。

7 コロナ禍の影響によって、昨年度前半、自団体においてどのような困難や課題が生じましたか。当てはまるものを 全て選び、☒ を付けてください。

- 職員やボランティア等、活動を進めるための人材が不足した
- 活動するための場所が確保できなかった
- 財政状況が厳しくなった
- 運営や活動を前に進めていくための方法・手続きが分からなかった
- 活動の計画や方針、見通しが立たなかった
- 組織の事務や体制を維持することが困難であった
- オンライン化を進めるための機材やノウハウがなかった
- 有効な広報手段がなかった
- 外部と連携・協働して取り組むことができなかった
- その他: _____
- とくになし

12 コロナ禍で生じた困難や課題を乗り越えてきた中で、あらためて自団体の現状をふりかえったときに、各項目について当てはまる選択肢を 1つ選び、 を付けてください。

活動のためのノウハウやスキルについて	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	必要を感じていない
活動のテーマ・分野に関する専門的なノウハウがある	<input type="checkbox"/>				
ファンドレイジング(資金・資源調達等)のノウハウがある	<input type="checkbox"/>				
ITのスキル・ノウハウがある	<input type="checkbox"/>				
ニーズ把握等の調査のノウハウがある	<input type="checkbox"/>				
情報発信力がある(ホームページ、SNS、情報誌等)	<input type="checkbox"/>				
事業を形にする力がある(企画力・戦略的発想)	<input type="checkbox"/>				

13 Q12と同様にお答えください。

組織や事業に関する基盤について	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	必要を感じていない
常設の場所／拠点施設を持つ強みを活かしている	<input type="checkbox"/>				
特定の財源に依存しない収益構造がある	<input type="checkbox"/>				
組織運営(人材育成・体制づくり等)に強みがある	<input type="checkbox"/>				
ボランティア(雇用職員以外)が活動しやすいようマネジメントしている	<input type="checkbox"/>				
法人事務のスキルや体制が整っている	<input type="checkbox"/>				

14 Q12と同様にお答えください。

外部への支援等について	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない	必要を感じていない
他団体の支援に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>				
団体・機関等のコーディネートに取り組んでいる	<input type="checkbox"/>				
話し合いやワークショップ等で場づくり(ファシリテート)している	<input type="checkbox"/>				
政策提言に取り組んでいる	<input type="checkbox"/>				

15 Q12と同様にお答えください。

外部とのつながりについて	あてはまる	やや あてはまる	ややあては まらない	あてはまら ない	必要を感 じていない
活動のテーマ・分野・領域のネット ワークを活かしている	<input type="checkbox"/>				
主な活動エリアにおけるネットワー クを活かしている	<input type="checkbox"/>				
行政との協働・関係づくりに関する 実績・経験を活かしている	<input type="checkbox"/>				
企業との協業・協働に関する実績・ 経験を活かしている	<input type="checkbox"/>				

16 コロナ禍で、自団体の運営や活動に、どのような困難や課題が生じ、どのように乗り越えられたか、Q12～15の回答を踏まえながら具体的に教えてください。(困難・課題の内容と、乗り越えた方策など)

※該当することがあればご記入ください。

17 コロナ禍の影響で、自団体において、未だに乗り越えられていない困難や課題として、当てはまるものを全て選び、 を付けてください。

- 職員やボランティア等、活動を進めるための人材が不足している
- 活動するための場所が確保できない
- 財政状況が厳しい
- 運営や活動を前に進めていくための方法・手続きが分からない
- 活動の計画や方針、見通しが立たない
- 組織の事務や体制を維持することが困難である
- オンライン化を進めるための機材やノウハウがない
- 有効な広報手段がない
- 外部と連携・協働して取り組むことができない
- その他：

- とくになし

18 今後、自団体にとって必要な支援策として、当てはまるものを5つまで選び、☒ を付けてください。

- 組織基盤(体制づくり・人材育成・組織内コミュニケーションなど)の強化に関する研修・個別支援
- 常設の場所を探したり、運営するためのアドバイス(空家マッチング制度等)
- 助成金の紹介や活用に向けたアドバイス
- 事業の経営(企画・戦略的発想など)に関する研修・個別支援
- ファンドレイジング(資金・資源調達等)のノウハウに関する研修
- 評価・調査に関する入門的な研修
- 法人事務に関する研修
- オンラインを活用した事業のスキルアップ研修
- 広報(ホームページ・SNS・メルマガ等)に関するスキルアップ研修
- 同テーマ・分野・領域のネットワーク構築支援
- 地域・活動エリアにおけるネットワーク構築支援
- 企業や教育機関等、他の業種との関係づくりの支援
- 行政との協働事業を進めるためのノウハウ支援
- 企業との協働事業を進めるためのノウハウ支援

- その他 : _____
- とくになし

19 とくに、市民協働推進センターに期待する支援策があれば、教えてください。

※Q18の選択肢以外の内容でも構いません。※該当することがあればご記入ください。

20 コロナ禍による影響が長期化する中で、活動の地域や対象者等が抱える困難な状況として、最も当てはまるものを 1つ選び、☒ を付けてください。

- 1. 困難な状況は解消されつつある。 ➡Q22へ
- 2. 困難な状況は変わらずのままである。 ➡Q21へ
- 3. 困難な状況はいっそう深刻化しつつある。 ➡Q21へ
- 4. 地域や対象者等の状況が分からない。 ➡Q22へ

21 Q20で「2」「3」を選択された方にお聞きます。

コロナ禍による影響が長期化する中で、活動の地域や対象者等に関わる問題や困りごとについて、「より深刻化していること」や「顕在化してきたこと」、「新たに生じていること」があれば具体的に教えてください。

※該当することがあればご記入ください。

3. 連携・協働について

今後の連携・協働による課題解決等に向けた取組に対する支援方策を検討するため、連携・協働の実態や意向をお聞きします。

★ Q22～Q25の設問では、連携・協働による取組について、事業やプロジェクトの実施や相互の協力、支援を想定してお答えください。

22 他の団体や行政、企業、機関・施設等との連携・協働による取組状況について、当てはまるものを1つ選び、を付けてください。

- 1. 既に連携・協働による取組を行っている → Q23～25 (Q26) へ
- 2. 連携・協働による取組は行っていない(今後に向けて、積極的な意向はある) → Q25 (Q26) へ
- 3. 連携・協働による取組は行っていない(今後に向けて、意向もない) → Q27へ

23 Q22で「1」と回答した方にお聞きします。

過去3年程度の期間を想定し、「連携・協働の実績がある組織・団体」として、当てはまるものを全て選び、を付けてください。

- 行政
- 中小企業(個人商店を含む)
- 上記以外の民間企業(大企業等)
- 商店会(商店街)
- 各区の社会福祉協議会
- 市民利用施設(地区センター、コミュニティハウス、図書館等)
- 各区の市民活動支援センター
- 横浜市地域ケアプラザ
- 地域子育て支援拠点
- 福祉施設(特別養護老人ホーム、グループホーム等)・医療機関(病院等)
- 教育機関(学校、大学、幼稚園等)
- 地縁団体(自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員、各種委員会等)
- NPO 法人・ボランティア団体
- その他: _____

24 Q22で「1」と回答した方にお聞きします。

Q23で選択した組織・団体との具体的な連携・協働の取組の中で、具体的なプロジェクトとして実施したもので、代表的なものを1つ教えてください。※あればプロジェクト名と、相手先、取組内容等

25 Q22で「1」「2」と回答した方にお聞きします。

今後の事業展開等を想定して、いずれの組織・団体と連携・協働して取り組みたいと考えますか。当てはまるものを全て選び、 を付けてください。

- 行政
- 中小企業（個人商店を含む）
- 上記以外の民間企業（大企業等）
- 商店会（商店街）
- 各区の社会福祉協議会
- 市民利用施設（地区センター、コミュニティハウス、図書館等）
- 各区の市民活動支援センター
- 横浜市地域ケアプラザ
- 地域子育て支援拠点
- 福祉施設（特別養護老人ホーム、グループホーム等）・医療機関（病院等）
- 教育機関（学校、大学、幼稚園等）
- 地縁団体（自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員、各種委員会等）
- NPO 法人・ボランティア団体
- その他：

26 Q25で、「地縁団体」を選択した方にお聞きします。

「地縁団体」と自団体とで、どのような取組や関係づくりを進めたいと考えますか。最も当てはまるものを1つ選び、 を付けてください。

- 地域や互いの活動や現状に関する情報共有・交換を行う。
- それぞれのイベント等のときに、相互に協力し合う。
- 地域の課題に対してパートナーとして、それぞれの役割を認識し合って、ともに取り組む。
- その他：

27 今後、連携・協働して取り組むテーマとなり得る「災害支援・災害時対応」を想定してお聞きします。

もし、横浜市や神奈川県で、地震や台風などの影響で大きな被害が生じたとき、どのような支援を実施できると思いますか。当てはまるものを全て選び、 を付けてください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 医療・レスキュー | <input type="checkbox"/> 団体間コーディネート |
| <input type="checkbox"/> ガレキ撤去・家屋清掃支援 | <input type="checkbox"/> 調査・アセスメント |
| <input type="checkbox"/> 物資・炊き出し支援 | <input type="checkbox"/> 制度相談 |
| <input type="checkbox"/> 災害ボランティアセンター支援 | <input type="checkbox"/> なりわい支援 |
| <input type="checkbox"/> 避難所・仮設住宅・みなし仮設住宅支援 | <input type="checkbox"/> 情報収集・発信、IT支援 |
| <input type="checkbox"/> 在宅被災者・ペット支援 | <input type="checkbox"/> コミュニティ再生支援 |
| <input type="checkbox"/> 障害・要援護者支援 | <input type="checkbox"/> その他： <hr/> |
| <input type="checkbox"/> 子ども支援 | <input type="checkbox"/> とくに提供できることはない |
| <input type="checkbox"/> 外国人支援 | |

28 Q27で選択した災害時の支援について、具体的に何ができそうか教えてください。

4. オンラインツールの活用について

地域や社会の変化に対応していくため、市民活動団体におけるオンラインツールの活用を後押しする方を検討するにあたり、お聞きします。

29 下記の各オンラインツールについて、状況・意向として当てはまる選択肢を1つ選び、をつけてください。

設問の対象として挙げたオンラインツール
■ Facebook・Instagram・Twitter・・・文章・画像等による情報発信で利用できる媒体 (SNS)
■ YouTube・・・動画配信で利用できる媒体
■ LINE・LINE WORKS/Slack・・・メンバー間での情報共有・コミュニケーションに利用できる媒体
■ Zoom・Teams・・・オンライン (画像・音声) での会議等に利用できる媒体
■ Peatix・・・オンラインで参加費支払い等ができる電子決裁システム
■ kintone・salesforce・・・業務や活動を行う中で得られた様々な情報を管理・分析・活用できるツール
■ google drive、One Drive・・・インターネットを介して、メンバー間でデータを共有等できるツール
■ techsoup・・・非営利団体の支援を目的として IT ツールやソフトを提供しているサービス 【techsoup ホームページ】 https://www.techsoupjapan.org/

※回答欄は次のページにあります。

	今使っており、ある程度活用できている	今使っており、さらに活用する意向があるので学びたい	今使っていないが、活用の意向はあるので学びたい	今後も活用の意向はない	ツール自体が分からない
1. ホームページ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. Facebook	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. Instagram	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. Twitter	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. YouTube	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. LINE または LINE WORKS	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. Slack	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. Zoom	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9. Microsoft Teams	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10. 電子決済システム (peatix 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11. 情報管理ツール (kintone、salesforce 等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12. データ共有ツール (google drive、One Drive など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13. techsoup	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

5. 今後の協働推進、および市民活動支援に関するご提案等(自由記述)

30 最後に本調査の内容に関することも含め、今後の協働推進、および市民活動支援に関するご提案がございましたら、下記の欄にてお聞かせください。

質問は以上となります。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。